

進路だよい

都立永福学園 肢体不自由教育部門
令和8年1月15日発行
校長 三浦 昭広
No.5 文責 鈴木 習

日頃から本校の教育に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。
今回は高等部3年生の実習報告会、中3・高1の進路先施設見学会、そして
高等部2年生の実習壮行会の報告をします。



☆高等部3年生 実習報告会

11月8日（金）に、中学部3年生及び高等部生徒、保護者、教員に
加え、福祉行政に関わる方々（行政・生活介護事業所・相談支援事業所）を
お迎えして、高等部3年生の進路報告会を実施しました。

生徒たちが新宿区・中野区・杉並区の福祉事業所で実習した際に、自分で決めた目標や学
んだことを中心に発表を行いました。

事前に決めた目標としては、以下の内容がありました。

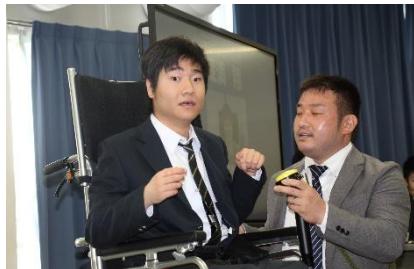
- ①体調を整える
- ②自分のことを知ってもらう…「自分の〇〇を頼む」「支援を受け入れる」
「たくさん歩く・運動する」「自分のことをアピールする」
- ③コミュニケーション……………「しっかりあいさつする」「自分の気持ちを伝える」
「最後まで相手の話を聞く」

一人一人の発表では、校内でも頑張っているこれらの目標について、実習先の事業所でも
自分の力を発揮して達成ができた、といった報告が多くありました。実習を重ねる中で、事
業所での生活に見通しをもち、気持ちや環境との調整を図る力を高めることができたこと
は、素晴らしいと感じました。

さらに、発表内容だけでなく、発表自体も相手を意識し、はっきり明瞭な言葉や表現でし
っかり伝えようとする姿が見られ、高等部3年生の大きな成長を感じました。

会のまとめでは、中学部・高等部の後輩、生活介護事業所の方からも高等部3年生に称賛
の声が寄せられました。その晴れがましい先輩の姿を見て、後輩たちも自分も頑張ろうとい
う気持ちが高まることと思います。

「豊かな生活」を切り開いていくためには「いつでも」「どこでも」「だれとでも」は大
切なキーワードです。将来の自己実現に向けて日常の生活の中でも目標をもちチャレンジす
る、最後にその大切さについて学ぶことができた発表会となりました。



☆中学部3年生・高等部1年生 進路先施設見学会



12月6日（金）に、中学部3年生と高等部1年生の生徒、保護者、教員で、進路先施設見学会を行いました。中学部3年生は、本校近くの「永福南社会福祉ガーデン」へ、高等部1年生はそれぞれの居住区ごとに、「マイルドハート高円寺」「シャローム上井草さくら」（杉並区）、「コロニーもみじやま支援センター」（中野区）、「新宿トライ工房」（新宿区）を見学しました。

それぞれの施設では、施設での活動や一日の流れについての説明を聞いたり、館内を見学したりしました。送迎用のスクールバスや形態食・刻み食があることなど学校と似た点や、反対に給食からは牛乳がなくなりお茶になることや、通所時間が学校の在校時間よりも朝夕で1時間程度短くなる可能性のあることなど、異なる部分についても学ぶことができました。

また、施設ごとに力を入れて取り組んでいること、機械浴やスヌーズレン、壁面装飾(カレンダー)作りなど、それぞれの施設ごとに特徴があることについても学ぶこともできました。

まさに「百聞は一見に如かず」で、将来の自分の姿を想像してみることができた貴重な機会となりました。今回の知見を活かして、「日々元気に登校をすること」、「よりよい気持ちの伝え方」、「どんな人の介助も受けられる力」、「自分でできることは自分から取り組む気持ち」などを今後の学校・家庭生活の中で高めていくことが必要です。今後も引き続き「豊かな生活つくり」に向けて準備を進めていきましょう。



☆高等部2年生 実習壮行会



11月28日(木)に高等部2年生の実習壮行会を行いました。高等部生徒及び高等部保護者の参加がありました。高等部2年生は、修学旅行など忙しいスケジュールの中でしたが、一人一人が実習先と目標をしっかりと発表することができました。12月から2月までとても寒い期間に実習を行うことになりますが、健康に気を付けて「卒業後の生活」のシミュレーションをしてきてほしいと思います。

またワンポイント講座として、「正しい言葉遣いと姿勢」について、教員の寸劇を見て学習しました。「相手の顔を見る」「自分でできる挨拶をしっかりと」「敬語をつかう」など「相手を敬うことが自分を大切にしてもらうことにつながる」ことを学び、マナーを守る大切さについて、学ぶことができました。

